

第5回教育大綱普及推進研究部会要旨

・日時 令和4年1月25日午後6時30分より

◇あいさつ（小澤職務代理者）

教育長代理者として本日から参加させて頂く。熟慮を重ねてこられていよいよ答申を検討する段階となった。本日もよろしくお願ひしたい。

◇協議事項

(1) 部員の意見について

（事前に頂いた意見を塩川課長補佐説明）

(2) 方向性2案の決定

部長 第4回では3つの案の中からB案（現地建て替え）とC案（池田保育園に統合）の2案に絞ろうと話がまとまった。部員から出された意見を踏まえてどのように答申に入れ込むか。

質問・意見	<p>【葎本委員】今まで意見が出し尽くされて来た。B案のみに絞った方が良いとの意見もあるが、経過も踏まえて2案を残して答申とした方が良いと思う。</p> <p>【大厩委員】葎本委員の意見に賛成である。</p> <p>【丸山高徳委員】反対である。町の財政が厳しい中で、財政健全化のためにどうしてもC案を良しとする意見が多くなってしまふ。B案、C案の2案とすると、B案は比較するために残すようなものだ。幼児教育の重要性を鑑みてB案に絞った方が良い。</p> <p>【荻窪委員】B案、C案の2案にした方が良い。安易にC案とするのだけは避けたい。コロナ明けは移住も増えると思われ、やっぱりあの時に会染に作っておけば良かったというのだけは避けたい。今後もB案の良さ、重要性を議論し続けて頂くためにも2案とする方が良い。</p> <p>【部長】答申案の「来年度以降の議論に向けた希望」にある「幼児教育の重要性」「地域活性化のための幼児教育施設存在の価値」にも通じるご意見である。</p> <p>また、答申は案の冒頭に示してある通り、第2次教育大綱や保小中15年プランが掲げる理念を実現するという手段との位置づけとするため、C案を推す理由が現在のままでは弱い。理由づけを明確にしたい。またそれぞれの課題についても答申に載せることとし、もっと議論を深めたい。</p> <p>【丸山高徳委員】現在の答申案には保小中15年プランの実現という言葉が無いので入れて欲しい。</p> <p>【部長】答申にはB案、C案の2案としたいがいかがか。</p> <p>→了承</p> <p>【部長】保小中15年プランの実現、またそれぞれの課題について再度検討する。B案はどうか。</p> <p>【荻窪委員】地域の方との関わりの重要性、地域の子どもは地域で育てるとの意識が実現出来るように。</p> <p>【部長】部員から出された意見にもあるが、地域の資源（ヒト、モノ、コト）を</p>
-------	--

生かしていくということとも同じである。

【丸山玲子委員】保小中 15 年プラン実現のためにも地域とのつながりは重要である。それぞれの地区が地域、保、小とつながり特徴のある活動が出来るという点に良さがある。

【山本委員】地理的な面からも会染地区に残した方が保護者にとって大きなメリットがある。課題との両面を示した上で答申としたい。

【部長】意見の中に子どもの視点から「園を身近に感じる、近くのものでありたい」とあるが、園長先生どうか。

【丸山玲子委員】散歩をしながら地域を知っていくということは大事である。統合すると会染地区の子どもには難しくなる。

【部長】そのような姿を見た地区の方が元気になり相乗効果も生まれるであろう。

【丸山玲子委員】池田北保育園が統合により無くなった時も地区の方から子どもの声が聞こえなくなり、寂しいとの声を聞いた。

【笠井委員】それに加えて、それぞれの保育園の個性が無くなるという面もある。目指すところは同じでも、違うやり方で保育をしていくことも多様性の良さであるので。

子ども達にとってという視点からは、統合してしまうと会染地区の良さがわかりにくくなるという面がある。主体性を大事にした保育を進める上で、地域とのつながりを持たせにくい。

【部長】B案のデメリットは

【荻窪委員】仮設園舎を作る必要があること

【山本委員】浸水被害が大きい地区であるため2階建てを想定しているが、災害が起こった時先生の指示のもと、2階に避難出来るかという心配がある点があげられる。

【丸山玲子委員】子ども達は毎月行っている避難訓練では落ち着いて行動が出来るし、浸水となる時はあらかじめ予想が出来き、多くは迎えに来ていただけると思う。2階建てとした場合の子どもの動きについて支障は無いと思うが実際にそのような施設で保育をしたことは無いので予想がしにくい点はある。

【塩川補佐】以前の会議で出ていた、保育士不足の中、1園にした方が保育士を確保しやすいという点はどうか。

【丸山高徳委員】保育士不足は町だけの問題では無い。保育士になりたい人を増やしていかなければならない。また統合して一クラスの子どもの人数が増えた方が懸念される。

【荻窪委員】丸山委員の意見に賛成で、保育士不足は大人側の問題である。中学校の職場体験で保育士になりたいと思うような取り組みをしないといけない。

【笠井委員】統合した場合のデメリットとして、保育士が一斉に休むと対応がしにくいという点もある。2園あれば保育士を融通し合うことも出来る。

また統合して一クラスの子どもの人数が増えると、配慮が必要な子どもの数が

	<p>増え、加配保育士を多く配置する必要も出てくる。</p> <p>【部長】 C案の保小中 15年プランに係るメリットは</p> <p>【山本委員】 保育園の時から顔見知りであるということ。</p> <p>【大厩委員】 大きな集団となり、同じ年同士で競争できる、賑やかになる等のメリットがある。</p> <p>【部長】 大人数となることで、子どもにとっては多様性の尊重という心が育つ、保育士側にとっては皆が主体性を持って活動出来るような配慮をより進めていくというメリットがある。</p> <p>【大厩委員】 保育園、小学校、中学校と進んでも、友達同士つながりが強く保てる。</p> <p>【丸山玲子委員】 2園存続すると、各年齢1クラスずつとなる。統合すると2クラス間の競争する機会が出来るというメリットがある。</p> <p>統合すると異年齢同志の活動が深まるというメリットがある。</p> <p>【部長】 C案の子どもにとってのデメリットは</p> <p>【山本委員】 統合したら保育士を確保出来るかといえば、疑問も残る。統合すると活動するスペースが狭くなるというデメリットが出来る。</p> <p>【部長】 遊具の使いにくさも出てくるだろう。</p> <p>【丸山玲子委員】 子ども主体の保育を進めているので、空き教室を活用している。広い空間を使って自分のやりたい事を追求している。</p> <p>大勢になると思う通りに空間を使って遊ぶということがしにくくなるというデメリットがあげられる。</p> <p>【部長】 B案となっても配慮事項としてあげられるだろう。</p> <p>【丸山高徳委員】 現在会染保育園園児は会染小学校に歩いて行き、中を自由に探検させて頂いたり、児童とも自然で素晴らしい交流が出来る。C案にすると園児が別々の小学校に行くことからこのような活動は出来ないのではないかと。</p> <p>また、他の委員からも出されている通り、活動（場所・遊具等）を規制するようになる。</p>
--	---

(3) 答申(案)について

<p>質問・意見</p>	<p>【部長】 方向性はB案とC案の2案にすることに決まった。答申の記述について意見を求める。</p> <p>【大厩委員】 漢字についての指摘</p> <p>【荻窪委員】 会染保育園の老朽化についての討論がいつから開始したことを明記し、この問題の重要性を示した方が良い。</p> <p>【葎本委員】 中間教室に賛同が得られなかった理由を明記した方が良い。</p> <p>【部長】 建築案については</p> <p>【荻窪委員】 何故2階建てという案が出てきたのか、明確に示した方が良い。</p> <p>【山本委員】 「脱炭素社会に向け」という記述は入れるならどのような建物とするのか詳しく示した方が良い。</p>
--------------	---

【縣委員】形式は変更しても良いのか。

【寺嶋課長】平成 27 年度の会染保育園建設検討委員会から出された答申は、冒頭文と後に答申の内容が 2 点記載されているだけのシンプルなものであった。

【縣委員】記述の順番として、初めに課題が記載されているので、その後に結論を記載するようにした方が良いのではないかと。

【部長】本日意見を頂いた、メリット、デメリットも掲載頂きたい。

【丸山高徳委員】B案にしてもC案にしても大切なことは除いた方が良い。

【寺嶋課長】除くということで良いと思う。

→他委員も賛同

【荻窪委員】先ほど意見が出た「脱炭素社会に向け」という記述に対して、気候非常事態宣言をしている町だからこそ取り組んでいくという表現を入れた方が良い。

【大厩委員】同じ意見である。

【寺嶋課長】タイトルについて「会染保育園老朽化への対応（環境改善について）」についてというように変更したい。

◇今後の進め方について

事務局から進め方について説明

本日頂いた意見をまとめ、文書で委員に照会する。

◇閉会